

令和6年度 総合型選抜 課題探究型 総合考査【体育学科】

試験時間：60分

.....

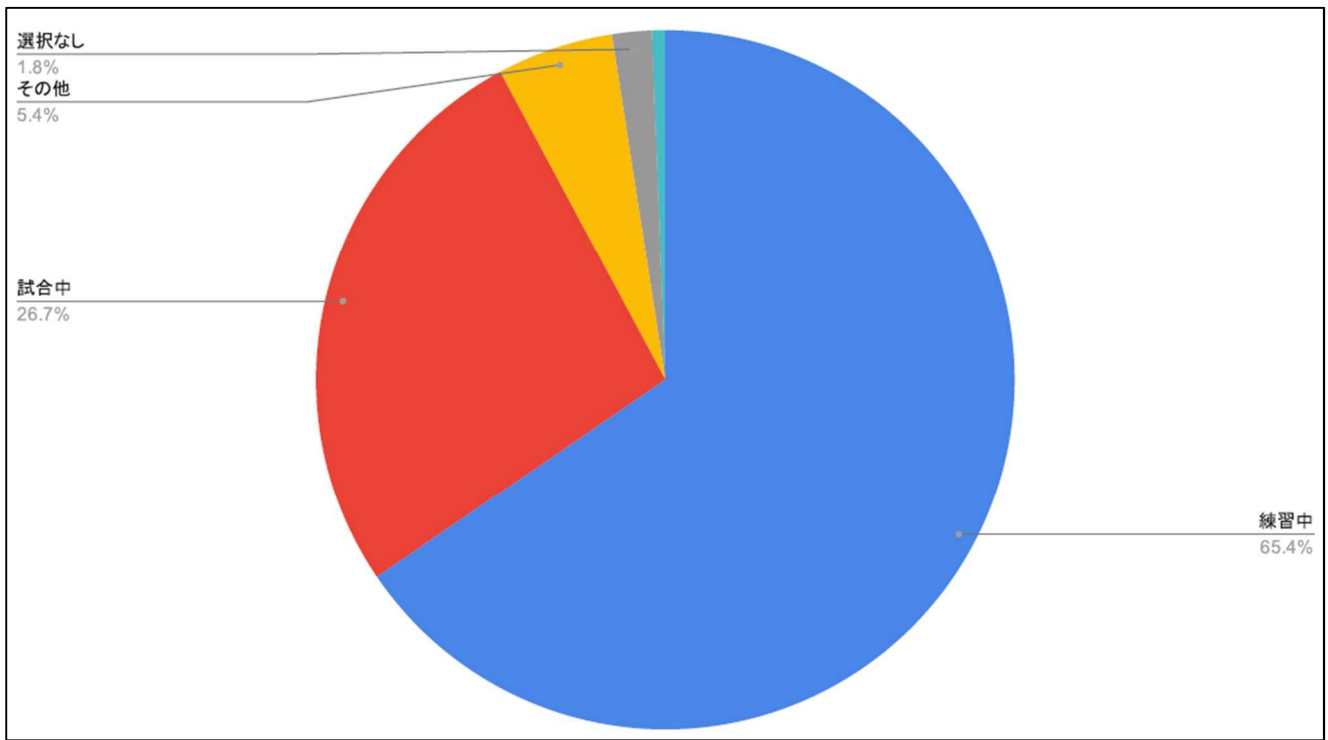
「運動は心身の健康に効果があるが、けがや病気を引き起こすこともある」といわれています。競技者が安心してスポーツに取り組めるようにするためには、競技の安全性を確保しなければなりません。しかしながら、スポーツ現場では毎年一定数の重大事故が発生しており、これに対応する十分な準備がされていない団体もあるのが現状です。

大学スポーツ協会（UNIVAS）では、日本の大学スポーツにおける事故・けがの状況について取りまとめを行っており、2022年3月に発行された報告書では、64クラブを対象に調査を行い、816件のスポーツ外傷・障害の発生が報告されました。

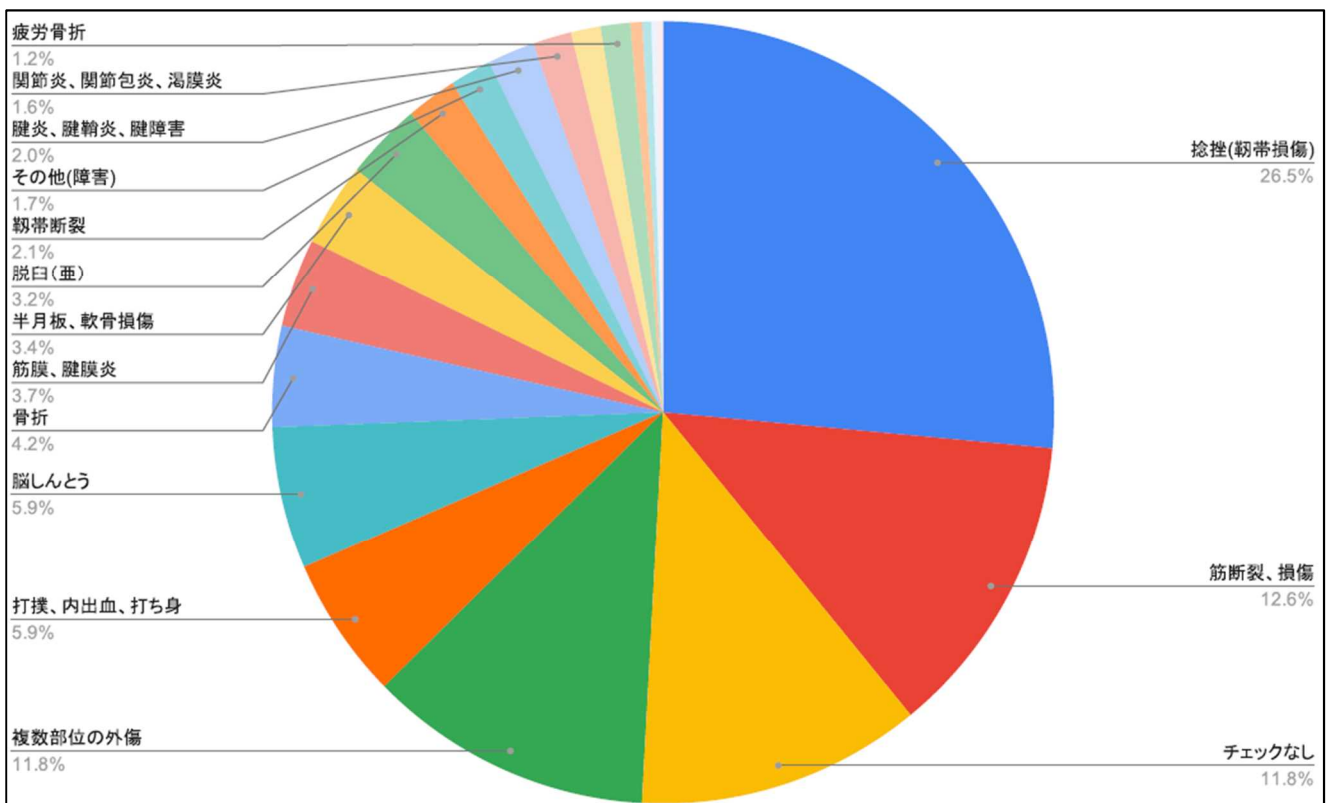
報告書には、＜図1＞及び＜図2＞のとおり発生状況の割合、外傷・障害種類の割合などが示されています。

問. ＜図1＞及び＜図2＞の特徴を踏まえ、スポーツ現場においてどのような取り組みを行うことで、安全で安心な競技活動の実施が可能か。あなたの意見も含めて具体的に説明しなさい。

（600字以上800字以内。横書き）



<図 1> 2021 年度発生状況の割合



<図 2> 2021 年度外傷・障害種類の割合

出典:「UNIVAS 大学運動部活動におけるスポーツ外傷・障害の傾向 2022 年 3 月」

(一般社団法人大学スポーツ協会)

<https://img.univas.jp/uploads/2022/03/a4c968ca850328be8f194104e39025f6.pdf>